

県北医療センター高萩協同病院広報誌

# Refresh!!

No. 79

2026年1月31日発行

TAKE FREE

## コンテンツ

新年のご挨拶、部門紹介（手術室）

医療にまつわるちょっといい話（医事課の役割、臨床工学技士の業務紹介、筋力トレーニングの紹介）



撮影地：茨城県高萩市 タイトル：「うねり」 撮影：歯科口腔外科医師 野地 秀彦

# 新年のごあいさつ



病院長 渡辺重行

## 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、清々しい新年を心新たにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、当院は、高萩市および地域の皆様に更にお役に立てるよう診療体制を強化しております。特に、小職が2024年4月、素晴らしい内科医2名とともに当院に着任以来は、今までの足りなかつた内科部門の診療を強化してまいりました。さらに、2025年4月には私の旧知の優秀な医師2名が診療協力してくださるようになり、更に、筑波大学附属病院の医師や、当院の兄弟病院である水戸協同病院およびとりで総合医療センターの医師、さらに茨城県厚生連の本所副理事長の医師などなど、たくさんの医師が当院へ診療協力をくださり、診療内容を発展させることができ、かつてよりたくさんの患者さんを受け入れができるようになります。

当院はもともと、整形外科、産婦人科、歯科口腔外科の診療には多大な実績があります。特に産婦人科は、24時間365日、手術も可能な

専門診療体制を整え、県北地域の産科医療を守つてまいりました。また、整形外科も、高齢者の転倒事故による骨折を始めとする多数の骨関節疾患者さんを受け入れてまいりました。それに加え2022年からは小児科の常勤医師を迎えて、たくさん的小児外来患者さんを受け入れられるようになりました。更に、脳神経外科、乳腺外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科などの診療科目も開設しており、総合病院として高萩市の皆様及びその周辺地区の皆様のニーズに答えられる体制を構築しております。

以上の幅広い体制を背景にして、当院が県北地域の救急医療に対し果たすべき役割は、地域の一次、二次救急医療を担い、早期介入を要する患者さんへの初期診断と治療に対応し、さらに地域の高齢患者さんの入院治療にも対応することであると考えております。以上の役割をしっかりと果たす志を持ち、全職員がさらに、高萩市及び県北地域の皆様のお役に立てるよう、本年も努めて参りたいと思います。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

# column

医療にまつわるちょっといい話

## 医事課の役割

医事課は、病院の受付窓口として、患者さんやご家族と最初に関わる部署です。

私たちは、外来・入院の受付、診療費の計算や会計、医事請求業務など、診療が円滑に進むように事務全般の業務を担当しています。特に窓口での対応では、来院いただくすべての方に安心してご利用いただけるよう、ゆっくりと丁寧に、分かりやすい説明を心がけています。



人工呼吸器



内視鏡洗浄機

や操作に不安がある場合も、職員が一つひとつご案内しますのでご安心ください。患者さんご本人以外の方が各種手続きのために来院される場合など、マイナ保険証のご提示が難しい場合には、「資格確認証」により保険資格が確認できますので、円滑なご案内のためにぜひご持参いただければ存じます。

私たち医事課職員一同、医師や看護師をはじめ、他の部署と連携しながら、医療と患者さんをつなぐ窓口として、信頼頂ける対応に努めて参ります。

## 臨床工学技士の業務紹介

当院では、2名の臨床工学技士が日々、業務に励んでいます。主な業務は、医療機器の管理業務です。

医療機器の管理業務では、院内のさまざまな診療分野で使用される医療機器について、常に安全に使用できる状態を保つため、使用前や使用後の点検、定期点検、分解清掃、定期的な摩耗部品の交換を行っています。臨床工学部署では約18種類、総数200台近い医療機器を管理し、効率的で無駄のない運用を心がけています。また、使用中の医療機器に不具合や故障が発生

した際も、修理対応を行っています。

その他、人工呼吸器業務や内視鏡室業務、手術室業務などの臨床業務、またペースメーカー対応やCPAP（経鼻的持続陽圧呼吸療法）対応など、外来業務を含む幅広い業務に携わっています。

患者さんと直接接する機会は多くありませんが、医療機器を通じて安全な医療を提供し、皆様が安心してご来院いただけるよう、全力を尽くしていきたいと思います。

「手術室のはなし」

Dept



手術室スタッフ

不安を理解し、安心して手術が受けられるように術前訪問を実施して患者さんやご家族からの疑問・心配なことについてお答えし、不安の軽減に努めています。また、術中も手術に伴う身体への影響を最小限にするため、身体の保温、皮膚トラブルや神経障害等起こさないよう被膜剤や身体に負担の少

当院手術室は、4部屋あり、主に整形外科（人工関節置換術・人 工骨頭挿入術・脊椎手術・骨折手術・外来手術等）産婦人科（帝王切開・子宮全摘術・卵巢腫瘍手術・流産手術等）歯科（抜歯術・囊胞摘出術等）の手術を行っています。また、緊急手術も対応しています。看護師7名が在籍し、医師、臨床工学技士、臨床検査技師、薬剤師、放射線技師、中央材料室のスタッフなど多くの職種が患者さんを中心としてそれぞれの専門性や役割を発揮し、協力しながら手術を行っています。

手術を受けるということは、患者さんにとつて未知で不安なもの です。



手術室の様子

ないマットなどを使用し、それぞれの患者さんに合わせた看護を行っています。患者さんと関わる時間は短いですが、術後訪問も実施しております。手術入室時、気になつたこと、不安だったこと、手術室の温度、術後の痛みなど患者さんからの貴重なご意見を頂き、日々手術室看護の質向上を図り、安心・安全な医療の提供、円滑な手術の遂行ができるようチーム一丸となって努めています。

# column

医療にまつわるちょっといい話

## 「筋力トレーニングの紹介」

筋力が向上すると動作が安定し、運動のパフォーマンス向上に繋がります。さらに、転倒防止や体力向上にも有効です。自宅で寝ながら気軽にできる筋力トレーニングを紹介します。是非やってみてください。いずれの運動も無理のない範囲でおこなってください。

### ①股関節外転、伸展運動

目的：歩行時の体幹・骨盤の安定性向上に繋がります。



方法：横向きになり上の足をあげます。

回数：10～20回×2～3セット



方法：仰向けで寝ている状態から膝を立てて、お尻をあげます。

回数：10回～20回×2～3セット



### ②足あげ運動

目的：歩行時の膝折れ・つまづき防止に繋がります。



方法：仰向けで寝ている状態で片足を上にあげます。膝が曲がらないよう意識します。

回数：10～20回×2～3セット

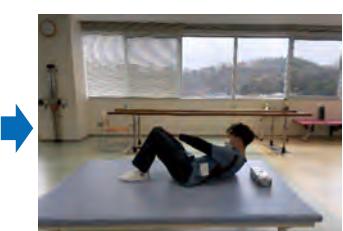
### ③腹部の運動

目的：体幹の安定性向上に繋がります。また、蠕動運動が促進され便通改善にも繋がります。



方法：寝ている状態で膝を立てて膝を触るように上半身を起こします。

回数：10～20回×2～3セット



方法：寝ている状態で膝を立て右手で左の膝を触るように上半身をねじりながら、上半身を起こします。次は、左手で右の膝を触るように同様におこないます。

回数：10～20回×2～3セット

【院内学術会を開催】  
11月26日に薬剤部・事務部・看護部による5演題の発表があり、たくさんの職員が集まりました。



発行所：県北医療センター高萩協同病院

発行人：渡辺 重行

編集：広報ふれあい委員会

編集協力：JA 茨城県厚生連総務部

〒318-0004 高萩市大字上手綱字上ヶ穂町 1006 番-9

Tel : 0293-23-1122 HP : takahagi-kyodo-hp.jp/